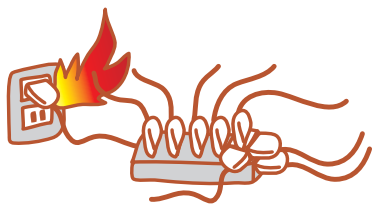


コードやプラグなど配線器具の事故が多発しています

こんな使い方をしていますか？



たこ足配線をする

事例

集合住宅の一室から出火した。
(平成18年1月 福島県)

原因

電気ストーブや電気こたつなど6個の電気製品をたこ足配線で使用していたため、許容電流を超えてしまいました。そのため、コードが加熱して発火したものです。



コードを引っ張る



コードを束ねる

事例

エアコンのコンセント部分から「パチパチ」と音がして発煙し、コンセント周辺が焦げた。
(平成20年7月 兵庫県)

原因

電源プラグとコンセントの隙間にほこりが溜まり、トラッキング現象が発生して発煙に至ったものです。



トラッキング現象



コードの上にものをのせる

事例

住宅から出火して全焼し、1人が顔にやけどを負った。
(平成20年3月 茨城県)

原因

電気毛布のコードをベッドの脚で踏んだ状態で使用していたため、コードが断線して発火したものです。

製品事故に関する情報は以下のアドレスでご覧いただけます。

【NITE(ナイト)】

事故情報や社告・リコール情報等の検索のほか、注意喚起チラシなどのダウンロードができます。

<http://www.jiko.nite.go.jp/>

【経済産業省】

新着情報、リコール情報、製品安全にかかわる政策情報などをご覧いただけます。

http://www.meti.go.jp/product_safety/index.html

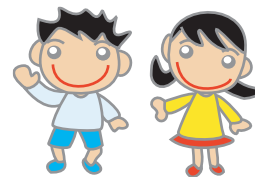
製品事故等が発生したら…

消費者庁、お近くの消費生活センターにご連絡ください。

nite
ナイト

独立行政法人 製品評価技術基盤機構
製品安全センター

製品安全調査課
〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-67 大阪合同庁舎第2号館別館
TEL 06-6942-1113 FAX 06-6946-7280



2010年1月

ついうっかりが 事故のもと

取扱説明書をよく読んで正しく使用しましょう



事故 **ナイト** いいね

電気ストーブにふとんが触れて、火災

事例
住宅から出火して全焼し、1人が死亡した。
(平成21年1月 群馬県)

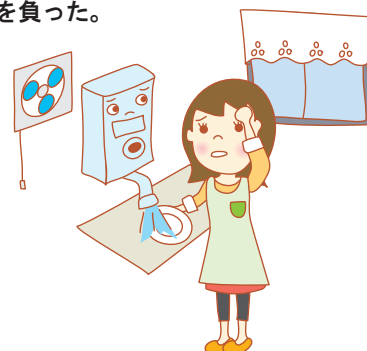


原因
電気ストーブをつけたまま就寝したため、ふとんがヒーターに接触して火がつき、出火したものです。

! 寝るときは必ず電源スイッチを切りましょう。また、カーテンなどの燃えやすいものをそばに置かないでください。洗濯物を乾かしたことが原因による火災事故も多く発生しています。乾燥して軽くなった洗濯物が上昇気流で外れてストーブに落下する危険性があります。

ガス湯沸器で一酸化炭素中毒

事例
飲食店の調理場で1人が死亡し、ほかの2人も気分が悪くなり重症を負った。
(平成18年7月 東京都)



原因
ガス湯沸器を使用中、室内の換気が不十分であったため異常燃焼を起こし、一酸化炭素が発生したものです。

! ガス湯沸器を使用する時は、必ず窓を開けるか換気扇を回すなど換気をしてください。換気が不十分だと不完全燃焼を起こして一酸化炭素が発生し、死亡に至るおそれがあります。

水槽用ヒーターから発火

事例
冬休み期間中に、木造2階建ての学校の教室から出火し、壁と床部分の一部を焼いた。
(平成19年7月 青森県)



原因
水槽の水がヒーター熱により徐々に蒸発して水面が下がったため、水槽に取り付けられていた観賞魚用ヒーターが水面から出てしまっただけで過熱し、樹脂製の水槽を溶融させ、発煙・発火に至ったものです。

! 水のないところや少ない状態で、水槽用ヒーターや水槽用フィルター（ヒーターを内蔵したもの）を使用しないでください。また、電源部分が水のかからない場所に設置してください。

はしごから転落して骨折

事例
屋根の除雪作業中、はしごがすべてコンクリート地面に落下し、右足首骨折の重傷を負った。
(平成20年1月 秋田県)



原因
はしごを凍結していたコンクリート地面に設置したために設置面で滑り、はしごから落下したものです。

! はしごは、柔らかい場所や凍った地面、段差のあるところに設置しないでください。また、補助者がはしごを支えてください。脚立を使用する場合は天板に乗らないでください。はしごとして兼用できるものは、裏面側は絶対に使用しないでください。

石油ストーブを消火せずに給油し、火災

事例
住宅から出火して、台所の一部を焼き、1人が死亡した。
(平成20年3月 東京都)



原因
石油ストーブを消火せずにカートリッジタンクに給油したところ、カートリッジタンクのふた（ネジ式）の締め方が不完全であったため、本体にセットしようとした際に、漏れた灯油にストーブの火が引火し、火災に至ったものです。

! 石油ストーブに給油する際は、必ず火を消してください。カートリッジタンクのふたが完全に締まっているかどうか必ず確認してください。また、間違えてガソリンを入れてしまうと異常燃焼を起こしますので、絶対にガソリンを入れしないでください。

ゆたんぽで低温やけど

事例
ゆたんぽを足下に置き就寝したところ、左足に低温やけどを負った。
(平成19年1月 愛知県)

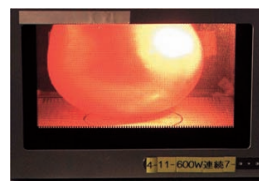
原因
就寝前は接触していなかったものの、就寝中に接触してしまい、そのまま長時間接触したため、低温やけどを負ったものです。

! 「低温やけど」は、ゆたんぽや電気あんかなどの暖房器具のほか、使いすてのカイロなどでも発生します。同じ部位を長時間温めないでください。また、違和感や熱いと感じたら直ちに使用を中止してください。ゆたんぽや電気あんかは、厚手のタオルや専用のカバーなどで包んでも低温やけどは負います。就寝前にふとんの中に入れて、温まったらゆたんぽをふとんから出し、電気あんかはスイッチを切ってください。

低温やけどとは？
比較的低い温度（44℃～50℃）でも長時間にわたって皮膚の同じところに触れていると筋肉などが壊死するために「低温やけど」を負います。44℃では3～4時間以上、46℃では30分～1時間、50℃では2～3分で「低温やけど」になるといわれています。

電子レンジ加熱式ゆたんぽが破裂してやけど

事例
電子レンジ加熱式のゆたんぽを加熱していたら、ゆたんぽが膨らんできたためあわてて電子レンジの扉を開けると、ゆたんぽが破裂して内容物が飛び散り、顔面にやけどを負った。
(平成21年3月 熊本県)



加熱開始後約6分でふくらみ始めたゆたんぽ（本体表示は600Wで6分）再現実験

原因
オート加熱機能を禁止する表示がありましたが、誤って使用してしまっただけで、規定時間を超えて加熱され、樹脂フィルム製の袋の内圧が高まって破裂し、内容物が飛び散ったものです。

! 取り扱い表示のレンジ出力及び加熱時間を必ず守ってください。袋が膨張、あるいは内容物が漏れ出た場合は、電子レンジのスイッチを切り、十分に時間をかけて冷却したことを確認してから扉を開けてください。

金属製ゆたんぽが破裂

事例
金属製ゆたんぽに水を入れてガスこんろで加熱していたところ、「ボン」という大きな音とともに破裂し、台所及び居間のガラスが割れ、ガスこんろなどが破損した。
(平成21年2月 兵庫県)



実際に破裂した事故品の金属製ゆたんぽ

原因
口金を外さずにゆたんぽを加熱したため、内圧の上昇に耐えられなくなったゆたんぽが破裂したものです。

! ガスこんろや電磁調理器で直接加熱するタイプの金属製ゆたんぽを加熱する際は、必ず口金（キャップ）を外してください。

除雪機で指を切断

事例
除雪機に右手を巻き込まれ、薬指を切断した。
(平成20年2月 山形県)

原因
除雪中、吹き出し口に詰まった雪を取り除こうとエンジンを切りましたが、吹き出し口のローターが完全に停止していなかったためケガをしたものです。

! 除雪機に詰まった雪を取り除くときは、必ずエンジンを切ってください。エンジンを切ってもしばらくは慣性で回転するので、完全に止まったことを確認してから、雪かき棒などを使って詰まった雪を取り除いてください。また、操作を誤ったことが原因で死亡事故も多く発生しています。慎重に操作を行ってください。

多発 リコール社告中のハロゲンヒーター等で事故



左の3種はリコール社告中の一部です

リコール社告中のハロゲンヒーターやカーボンヒーターで事故が多発しています。NITEホームページでお使いのハロゲンヒーターやカーボンヒーターが該当製品でないか確認してください。

<http://www.nite.go.jp/jiko/index4.html>